

## 赤十字救急法救急員養成講習会

2年生が災害看護の授業の一環として、令和3年12月7日（火）から12月9日（木）まで講習を受講しました。3日間で一次救命処置、急病・けが、傷の手当て、搬送、救護について講義と演習を行い、災害時の看護活動に参加できる基礎的知識・技術を学びました。実際に難しいと感じた内容は頭頂部に巻く包帯法でした。ペアの学生と何度も練習を繰り返しやっと出来るようになりました。また、物品が少ない中では、担架の代用として毛布やカーテンを利用する方法があることや実践的援助を教えてくださいました。今回の演習を通し、災害の場だけでなく、病棟でも学習した知識や技術を活かし患者様の急変時には臨機応変に対応し、救命できることが重要であると改めて感じました。今後、もし災害が起きた際には医療従事者として、被災者の手当てなどの役割を果たすことができるように、今回の学びを活かしていきたいです。



国際赤十字の成り立ちを学習



学生たちの真剣なまなざし

止血・きずの手当のデモンストレーション



包帯法のデモンストレーション



いざ、実践！



講師の先生方から丁寧にご指導を  
頂きました！



学生同士で技術練習中です！